

添付資料

1. ドンナイ省神戸市視察資料
2. エコ工業団地評価に関する説明資料
3. 環境省セミナー発表資料

1. ドンナイ省神戸市視察資料

WELCOME TO KOBE

September, 2024
KOBE Urban Planning Bureau

S U M M A R Y O F K O B E

Destination	
SAPPORO	120min. by air
TOKYO	70min. by air 160min. by bullet train
YOKOHAMA	150min. by bullet train
HIROSHIMA	80min. by bullet train
FUKUOKA	135min. by bullet train

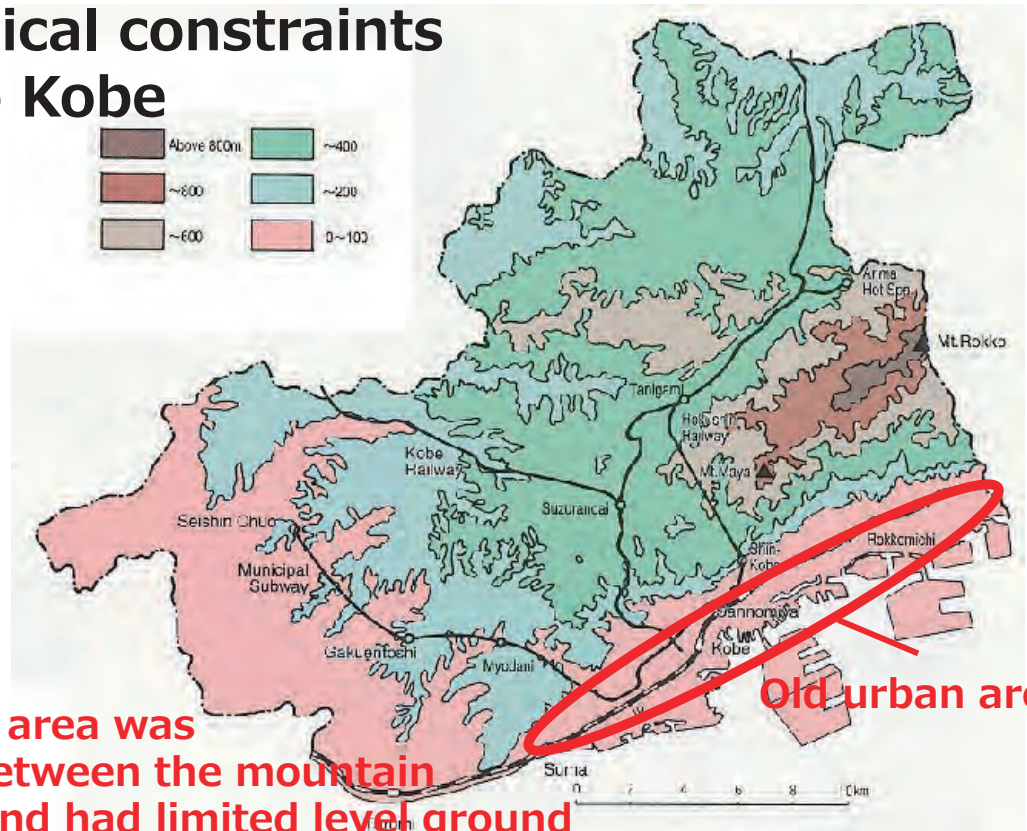


- Area : 557.05 (km²) (2024.1)
- Population : 1,493,675 (people) (2024.8)
- Main Industry : Steel, Shipbuilding, Railway Vehicle, Apparel/Fashion, Cake, Beef, Bread, Sake, Medicine



Overview of New Urban Improvement Projects

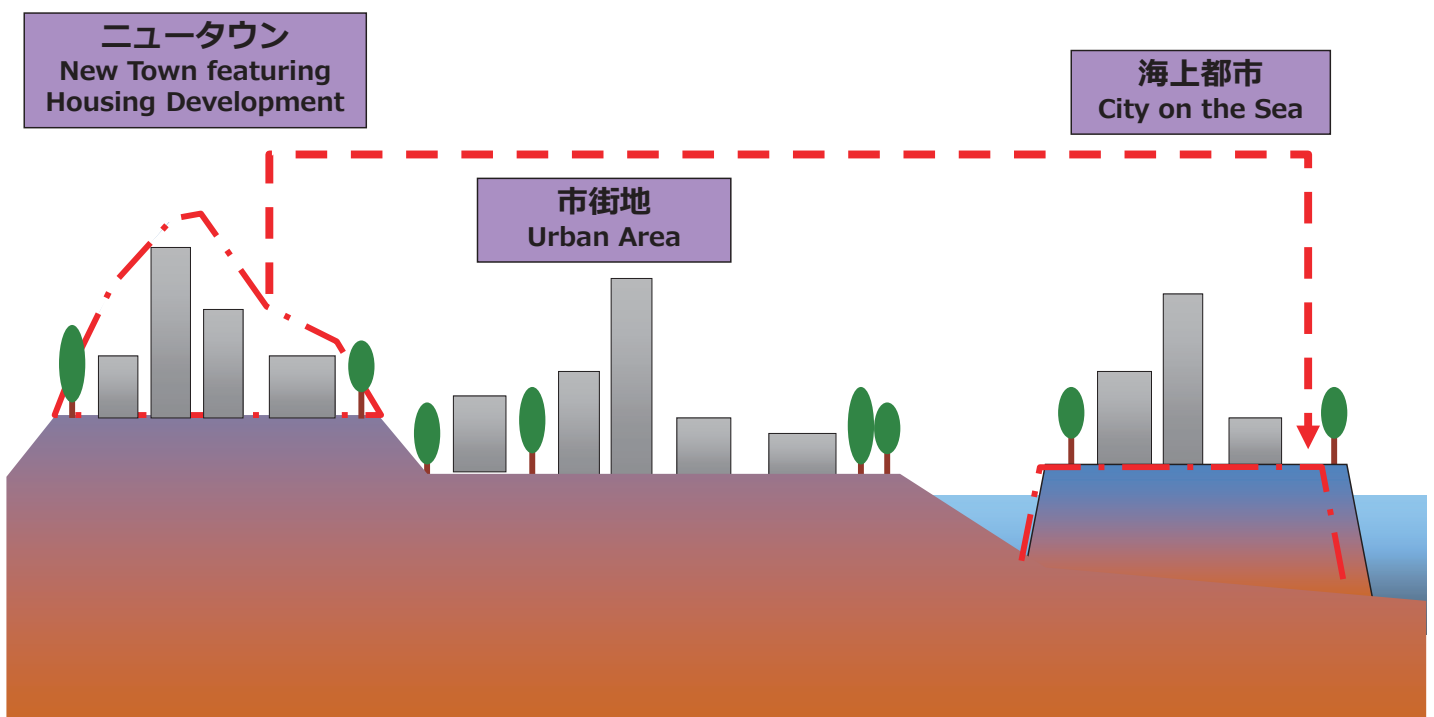
Topographical constraints peculiar to Kobe

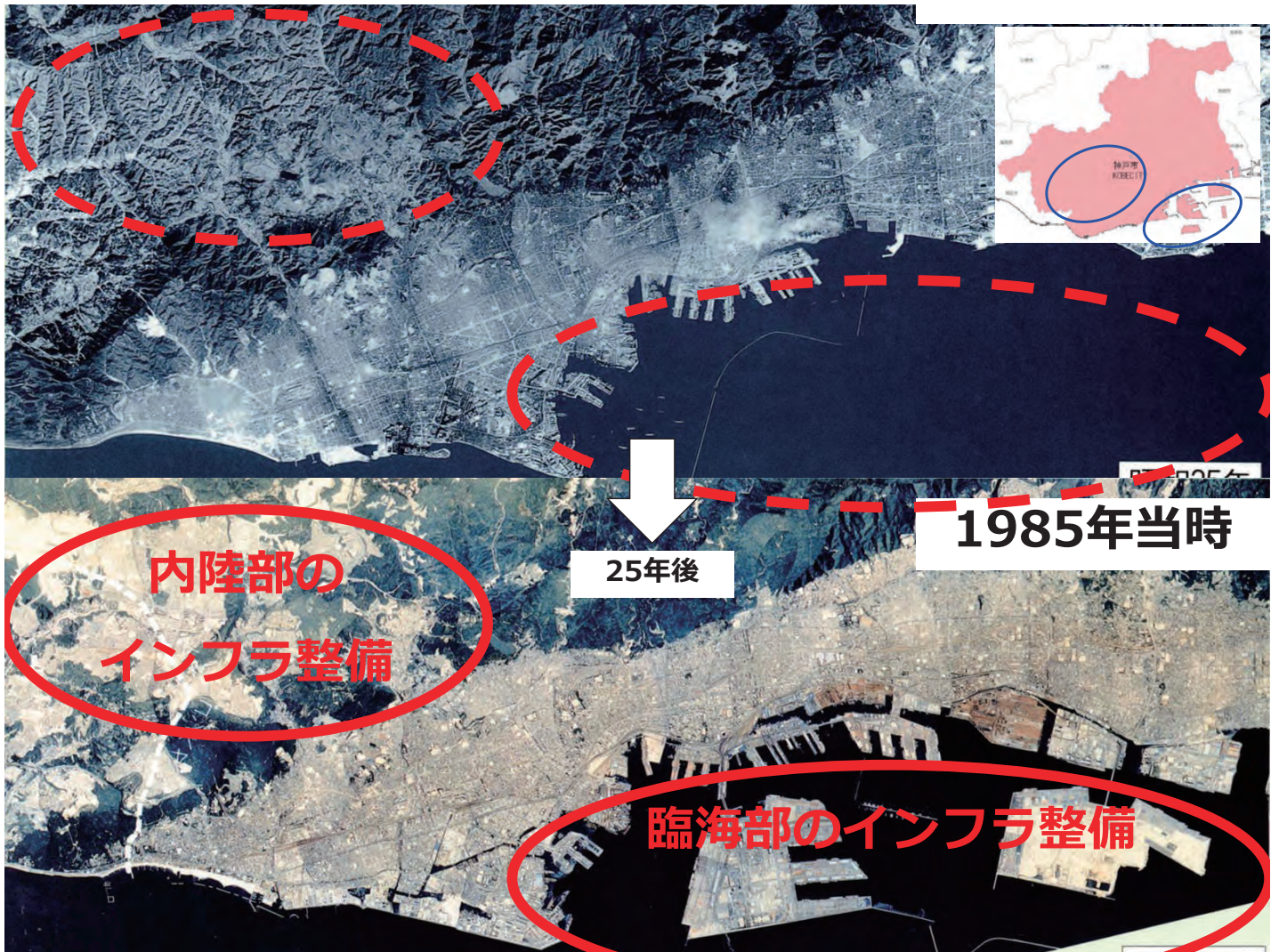


⇒The old urban area was sandwiched between the mountain and the sea, and had limited level ground (about 10% of the city area).

Overview of New Urban Improvement Projects

内陸部を造成し、発生した山土で海を埋め立てています。





阪神・淡路大震災



神戸医療産業都市の概要

1998年 神戸医療産業都市構想開始

阪神・淡路大震災の震災復興プロジェクト

※ 震災による経済的損失6.9兆円（1年分の市内総生産に相当）

目的

- 雇用の確保と神戸経済の活性化
- 先端医療技術の提供による市民福祉の向上
- アジア諸国の医療水準の向上による国際貢献



1998年（0社）



2024年7月末時点（360社）

新都市整備事業の事例①

神戸サイエンスパーク



- 住宅団地と隣接
- 研究開発系の製造事業者を集積
- 地下鉄、幹線道路も合わせて整備

新都市整備事業の事例②

神戸ハイテクパーク



- ・ 高速道路ランプに隣接
- ・ 工業の多様化・高度化を目指す製造事業者を集積

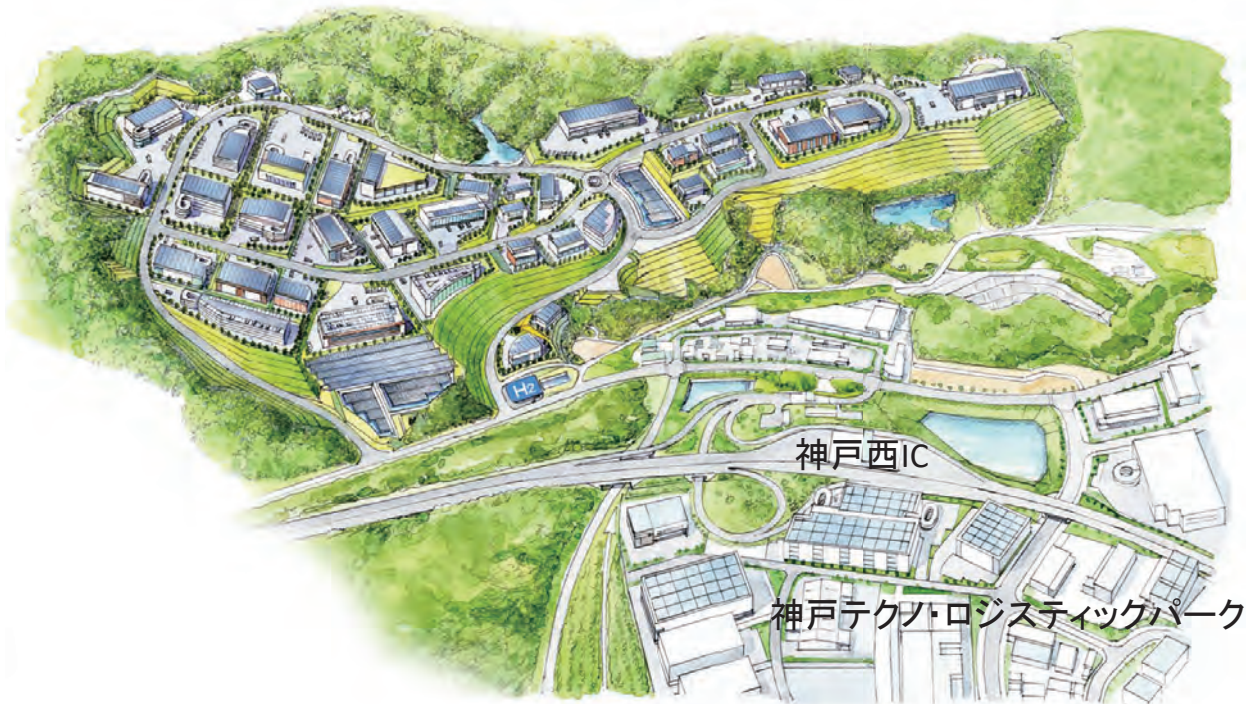
新都市整備事業の事例②

神戸テクノ・ロジスティックパーク



- ・ 工業団地と流通団地を隣接
- ・ 幹線道路、高速道路ICも合わせて整備
- ・ 駅に隣接し、利便施設を誘致

新産業団地（2026 年度以降一部分譲開始予定）



- ・神戸テクノ・ロジスティックパーク・神戸西 I C に近接
- ・製造工業用地・流通業務施設用地各約23ha
- ・「スマート産業団地」の実現を目指す

新都市整備事業での役割分担

項目	整備	管理	備考
道路	開発事業者（神戸市都市局）	道路管理者（神戸市建設局）	
下水（雨水）	開発事業者（神戸市都市局）	下水道事業者（神戸市建設局）	
下水（汚水）	下水道事業者（神戸市建設局）	下水道事業者（神戸市建設局）	整備費は事業者も負担
河川	開発事業者（神戸市都市局）	河川管理者（兵庫県、神戸市建設局）	
水道	水道事業者（神戸市水道局）	水道事業者（神戸市水道局）	整備費は事業者も負担
電気	一般送配電事業者	一般送配電事業者	整備費は事業者も負担
ガス	一般ガス導管事業者	一般ガス導管事業者	整備費は事業者も負担
通信	電気通信事業者	電気通信事業者	整備費は事業者も負担



A P P R O A C H (Paper)

産業団地を紹介するため、パンフレット「神戸ビジネス環境のご案内」を作成し、神戸市におけるビジネス環境の紹介や産業団地のご案内地を説明します。



A P P R O A C H (Digital)

神戸市のビジネス環境を事業者へ広く・適切に伝えるため、インターネット上で「企業進出総合サイト」を公開しています。



日本屈指のビジネス環境が
神戸にあります

神戸進出をお考えの皆様へ

ようこそ、本市企業進出総合サイトにようこそ。ありがとうございます。
神戸は、高度な産業・生活環境から、生活環境、そして最先端の成長産業まで幅広い産業が集積しており、陸・海・空をつなぐ交通アクセスは日本屈指のビジネス環境であると高く評価されています。神戸は、阪神・淡路大震災と復興の困難を乗り越え、新たなステージに立ち、神戸の玄関口である三宮周辺地区やウェーブフロントの発展を促しています。また、神戸空港の国際化も決定し、より魅力的な街に生まれ変わろうとしています。神戸の地で、きまぬ事業拡大をぜひご検討ください。皆様の成長のサポートにも積極的に取り組んでいます。神戸へのご進出を心よりお待ちしております。



神戸進出の6つの魅力

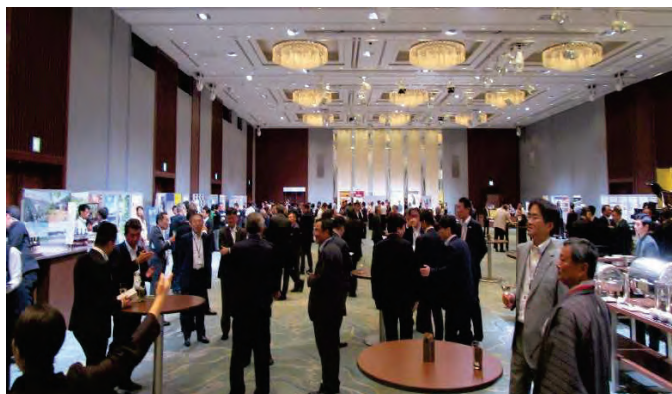
魅力照会

神戸は豊かな自然環境・産業・国際・観光など様々な魅力を有し、都市の魅力ランキングで上位に入る総合的な魅力を持った「住」



A P P R O A C H (Exhibit)

1. 展示会出展（産業立地の展示会に出展した際の写真です）
2. 神戸のつどい 東京で神戸市の主要プロジェクトの情報を発信しています）



戦略的な組織編制

企業誘致の推進による神戸経済の活性化を目的に、プロジェクトチームを発足しました。（現在は土地処分目標を達成により解散）

キャプテン	市長
バイスキャプテン	副市長
ボードメンバー	医療・新産業本部長 都市局長

【アクションチーム：①コアチーム＋②準コアチーム】

①コアチーム

企画調整局新産業部（誘致部門）

企画調整局医療産業部（誘致部門）

都市局（誘致部門）

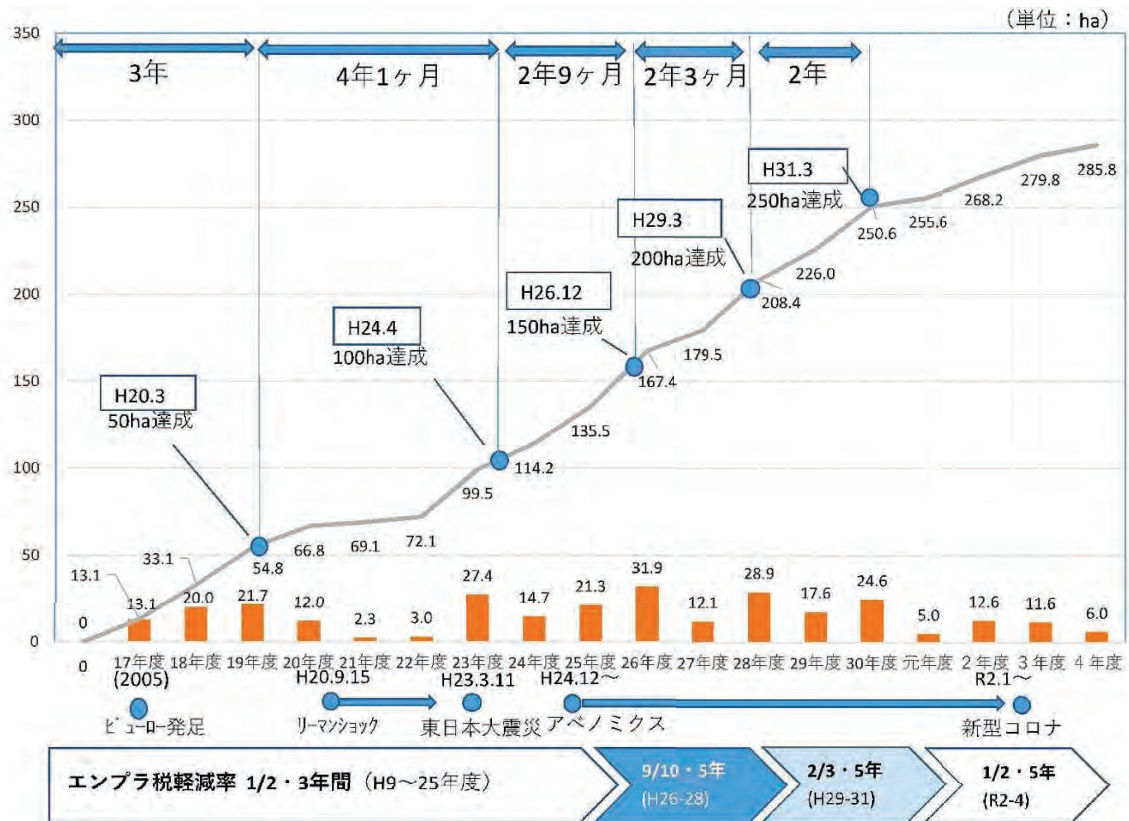
②準コアチーム

企画調整局新産業部
（新産業部門、イノベーション専門）

企画調整局医療産業部
（政策・推進、科学技術部門）

港湾局
（客船誘致、物流戦略、振興、経営部門）

処分状況



Thank you for your attention

KOBE 
CITY of DESIGN


unesco
Member of
the Creative Cities Network

2. エコ工業団地評価に関する説明資料

(但し、LDIP1のエコ工業団地評価は非公開資料のため、本添付資料より削除)

令和 6 年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務
神戸市-ドンナイ省の都市間連携によるグリーン
・スマート工業団地形成事業

エコ工業団地評価

2024.11.11

日本工営株式会社

目次

1. エコ工業団地評価の概要
 1. エコ工業団地評価の背景
 2. エコ工業団地・エコ企業に取り組むメリット
 3. エコ工業団地評価の概要
 4. ベトナムにおけるエコ工業団地評価事例
2. LDIP1のエコ工業団地評価（ドラフト）
3. LDIP1での今後の進め方

01

エコ工業団地評価の概要

01-1

エコ工業団地評価の背景

エコ工業団地は**経済、社会、環境**に関連した共通の利益を得るために、**産業、地域間の連携**を促進する管理された工業団地と定義されている。

UNIDOにおけるエコ工業団地の定義：

*Eco-industrial parks (EIPs) are defined as managed industrial areas that promote cross industry and community collaboration for **common benefits related to economic, social and environmental performance**. The EIP concept has evolved to address additional, interrelated aspects, including **resource efficient and cleaner production (RECP), industrial symbiosis, climate change, pollution, social standards, shared infrastructure, improved management of risks and shared resources, including land and ecosystem services**.*

*In short, eco-industrial parks are about creating **more resource-efficient and cost-effective industrial parks which are more competitive, attractive for investment and risk resilient***

(Source: International Framework for Eco-Industrial Parks, UNIDO, WBG, GIZ, 2021)

エコ工業団地評価に係る文書

2018.9

An International Framework for Eco-Industrial Parks

UNIDO（国際連合工業開発機関）、World Bank（世界銀行）、GIZ（ドイツ国際協力公社）が共同で、2017年に初版を発行。これまで独自にガイドライン、ハンドブック等を策定していたものが統一され、**国際的なフレームワーク**として認識されるようになった。



An International Framework For Eco-Industrial Parks

2022.11

Decree No.35/2022/ND-CP

ベトナム政府により2022年に発行された、**エコ工業団地及び経済区の管理規定に係る政令**。地方政府によるエコ工業団地や開発を奨励する方針の策定、エコ工業団地の認証（既存・新規別）の手続きを定め、工業団地の信頼を高め、管理者・入居企業のエコ工業団地化を目指す事を目的としている。



Indicators to Measure Performance of Eco-Industrial Parks in Vietnam

2022.12

Indicators to Measure Performance of Eco-Industrial Parks in Vietnam

UNIDO、MPI（計画投資省）が共同で、2022年に発行。ベトナムの状況に則した、エコ工業団地の評価を行うためInternational Frameworkの指標を選別。**ベトナムのエコ工業団地の評価指標を提示**している。



Decree No. 35/2022/ND-CP



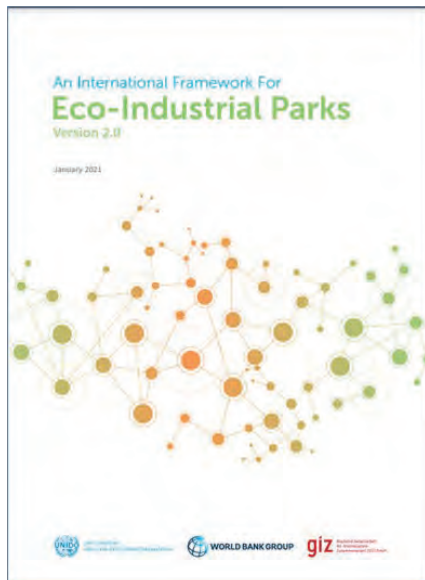
Draft Circular No. 9998 /BKHDT-QLKKT

2023.5

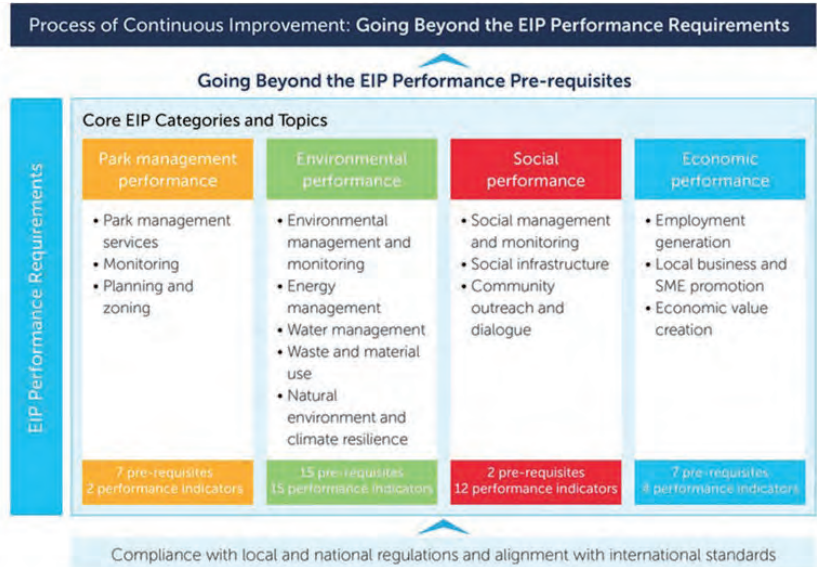
Draft Circular No. 9998 /BKHDT-QLKKT

MPIにより2023年に発行された、Decree 35を基にした**エコ工業団地を含む工業団地管理の詳細な手続きや要求事項を規定する通達**。エコ工業団地のパフォーマンスを定量的に評価できる、評価指標を提示している。

エコ工業団地の枠組みは、工業団地管理（**Park Management**）、環境（**Environment**）、社会（**Social**）、経済（**Economic**）の4つのカテゴリーに分けられ、要求事項やパフォーマンス指標が定められている。



出典：UNIDO、世銀、giz等



Copyright © NIPPON KOEI Co., Ltd. All Rights Reserved. 6

Decree No. 35/2022/ND-CP

Decree 35. Article 37.ではベトナムにおける**エコ工業団地の認定基準**を定めており、**投資家、管理者、テナント**それぞれに要求される規定について明記している。

投資家・工業団地・テナントの規定（Article 37）

投資家	<ol style="list-style-type: none"> エコ工業団地認証の登録前3年以内に、投資、企業、建設、土地、環境保護に関する法律および労働法を遵守すること。 企業による産業共生の実施に資する、<u>不可欠なインフラサービス（電気、水、情報、消防、廃水処理及びその他インフラサービス）</u>及び関連サービスを含む、法律の規定に従って工業団地における十分な基本的サービスを確保すること。 工業団地内の<u>原材料、材料、水、エネルギー、化学物質、廃棄物およびスクラップの使用に関する入出力管理の調整メカニズムを構築</u>し、実施する。天然資源の有効利用、工業団地のクリーンアップロダクションと<u>排出の監督の結果の年次報告書を作成し、工業団地・経済区管理委員会に報告</u>する。
工業団地	<ol style="list-style-type: none"> 共用部の面積は<u>最低25%</u>（緑地、交通用途など計画面積も含む） 団地内の<u>労働者に対する住宅、残業手当、公共施設を提供</u>する
テナント	<ol style="list-style-type: none"> 投資法、企業法、建設法、土地法、環境保護法、労働法を<u>3年以上遵守</u>していること 工業団地で<u>少なくとも1つの産業共生を実施し、工業団地で産業共生に参加する企業は、適切な国際標準化機構（ISO）の基準に従って生産および環境管理のためのシステムを適用</u>しなければならない <u>入居企業の最低20%は資源の効率的な使用、クリーン生産のための仕組みを導入し、資源を節約、廃棄物を最低限に排出する企業</u>でなければならない。

Decree 35のCircular案の一般情報

Item	Contents
1. Report of the ability to meet the criteria for <u>IP infra developer</u>	1.1 Status of implementation for regulations of investment, enterprise, construction, land, environmental protection and labor
	1.2 Status construction of infrastructure and supply services in IP <ul style="list-style-type: none"> a) Essential infrastructure services b) Infrastructure and enterprises support service in IP for IS implementation
	1.3 Status of set up and implementation of coordination of input, output for materials, water, energy, chemicals, waste, metal scrap in IP
	1.4 Report of implementation of environmental protection and CSR
2. Report of the ability to meet the criteria for <u>enterprises in IP</u>	2.1 Status of implementation for regulations of investment, enterprise, construction, land, environmental protection and labor of enterprises in IP
	2.2 Status of IS implementation and application of production & environmental management systems meeting ISO <ul style="list-style-type: none"> a) IS formula at IP, and b) Description detail of IS c) Copied commitment on IS implementation of cooperation IS's enterprises in IP d) Saving materials water, energy, chemical, waste, metal scrap after IS implementation <ul style="list-style-type: none"> - Saving electricity (kWh/yr), and Saving fuel (GJ/yr) - Reducing water consumption (m3/yr) - Saving materials (t/yr), and Saving chemicals (t/yr) e) Reducing environmental impact after IS implementation <ul style="list-style-type: none"> - Reducing solid waste (t/yr) - Reducing wastewater (m3/yr), Decreasing water pollutants (COD, BOD, etc.) (mg/L) - Reducing GHG (CO2, CH4, N2O) emission (t/yr) f) Report of enterprises attending IS about production & EMS meeting ISO
	2.3 Number of enterprises applying the solution for using RECP <ul style="list-style-type: none"> a) List of enterprises applying RECP b) Report of RECP implementation prepared by enterprises or consultant c) Status RECP implementation referring to required parameters of d), e) of 2.2
3. Report of the criteria for IP	3.1 Accountability of response condition <ul style="list-style-type: none"> Area of IP for a) Green crop, b) Transport, c) Infrastructure, d) General social infrastructure
	3.2 Securing residence and public facilities for labor in IP approved by Authority

Decree35, 2022, ND-CP, Vietnam

Copyright © NIPPON KOEI Co., Ltd. All Rights Reserved.

8

New Eco-IPの申請プロセス

追加

NIPPON KOEI

新規工業団地の申請プロセス



A Introduction

B Current requirements of the Government of Viet Nam

C New guidelines to establish new EIPs in Viet Nam, based on international experiences

C.1 Site selection for new EIPs

C.2 Feasibility assessment for new EIPs

C.3 Concept planning of new EIPs

C.4 General planning of new EIPs

D Recommendations on the use of these guidelines

Copyright © NIPPON KOEI Co., Ltd. All Rights Reserved.

9

通常のIPのStep1 計画、Step2 IPA、Step3 実際の投資フェーズ

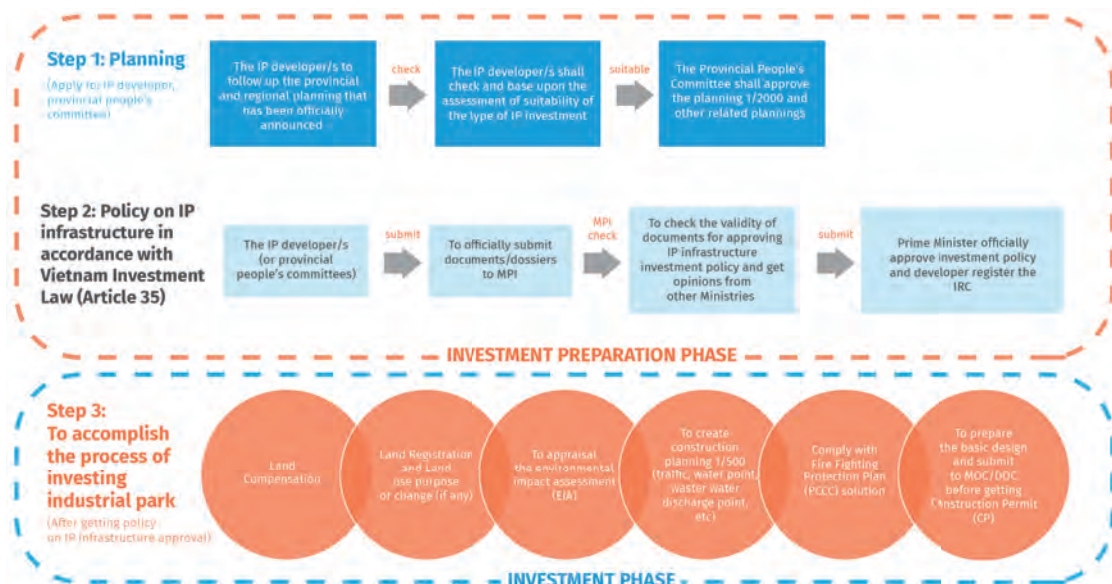
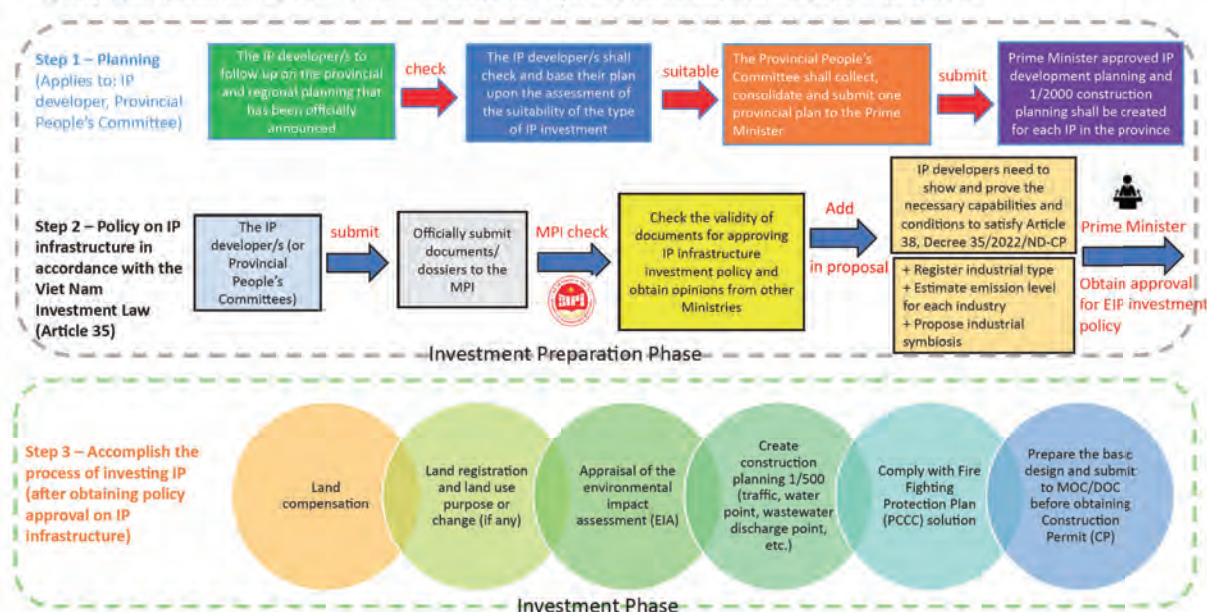


Figure 5: Process to establish new traditional IPs in Viet Nam and steps to be undertaken by the IP developer and authorities

Copyright © NIPPON KOEI Co., Ltd. All Rights Reserved. 10

MPI's process to establish new EIPs in Viet Nam and steps needing to be undertaken by the IP developer and authorities



Copyright © NIPPON KOEI Co., Ltd. All Rights Reserved. 11

01-2

エコ工業団地・エコ企業に取り組むメリット

エコ工業団地・エコ企業に取り組むメリット

NIPPON KOEI

Decree 35. Article 39.では、エコ工業団地・エコ企業に認定されることで得られるメリットを明記している。主に税制、融資・投資、情報提供に関する優遇措置が用意されている。

エコ工業団地・エコ企業のメリット (Article 39)	
エコ工業団地	1. エコ工業団地の建設・インフラ事業投資への投資を対象として以下の措置が受けられる。 <ul style="list-style-type: none">a. 土地法に基づき、土地代を免除または減額する。b. 企業法、信用法、その他の関連法に基づき、国から優先的に投資信用資金の借入ができる。c. 投資誘致プロジェクトのリストに追加される。
	2. エコ工業団地、エコ企業のインフラの建設と取引に関する投資プロジェクトを実施する投資家は、以下の措置が受けられる。 <ul style="list-style-type: none">a. ベトナム環境保護基金とベトナム開発銀行、中小企業開発基金、国内外のファンドやドナーから優先的に融資を受けることができる。b. 環境保護法、その他の関連法に基づき、ベトナムの信用機関や外国銀行の支店でグリーンクレジットを付与される。c. 債券発行法、環境保護法に基づき、グリーンボンドを発行し、エコ工業団地のインフラ構築、クリーナープロダクションの実施、資源効率と産業共生 (IS) を効果的に利用する。
	3. エコ工業団地、エコ企業のインフラ建設・取引に関する投資プロジェクトを実施する投資家は、政府主催の技術支援プログラムや投資促進プログラムに優先的に参加できる。
エコ企業	技術市場に関する情報、企業の生産・事業活動分野における産業共生を実施するための協力・能力に関する情報が優先的に提供される。
エコ企業の定義	エコ工業団地内において、クリーナープロダクション、効率的な資源の活用、産業共生 (IS) のためのソリューションを同時に実施している企業。工業団地・経済区の管理委員会から証明書を授与される。

将来的に考えられるエコ工業団地・企業のメリット

- ✓ エコ工業団地・エコ企業の認定による、政府承認の優遇
- ✓ エコ企業のラベル表示制度により、製品の販売促進
- ✓ スマートメーターにより、工業団地の水、エネルギー、温室効果ガス排出量の可視化を行うことで消費量の削減が可能
- ✓ 2025年にエコ工業団地に関する政令（Decree）が法律（Law）に更新される可能性あり、それに伴いインセンティブが改定される可能性

01-3

エコ工業団地評価の概要

MPIによるDraft Circularでは、23項目のエコ工業団地評価指標が定められている。

環境(Environment): 6項目、工業団地管理(Park Management): 4項目、社会(Social): 7項目、経済(Economic): 6項目

環境 : Environment

ID	Indicator	Threshold	Responsible entity		
			Enterprises	IP Infra investor	DIZA
ENV1	Industrial Symbiosis (IS)	Number of industrial symbiosis (IS) performed in IP		✓	
ENV2	RECP	Percentage of businesses in IP performing efficiency using resources and cleaner productions (RECP)	✓		
ENV3	Reuse of wastewater	Percentage of industrial wastewater of businesses in the IP have been reused / recircled in or outside the IP in accordance to the VN regulation / laws	✓	✓	
ENV4	GHG monitoring	Have the program and specific plan for monitoring and reducing GHG emission, such as CO2, CH4 and NOx		✓	
ENV5	Establish a monitoring mechanism and monitor the use of raw materials	To develop and implement cooperation mechanism for supervising input and output of using raw material, material, water, energy, chemical, waste, scrap in the IP; Making the annual report on achieved results in RECP and emission monitoring in the IP, then send such report to BIZA		✓	
ENV6	SDG report	Publicize the Report on Environmental protection and social responsibility for surrounding residents and send the Report to BIZA and public on the businesses' website.		✓	

Copyright © NIPPON KOEI Co., Ltd. All Rights Reserved.

16

Industrial Symbiosis : デンマーク・カルンボー市

カルンボー市（デンマーク）

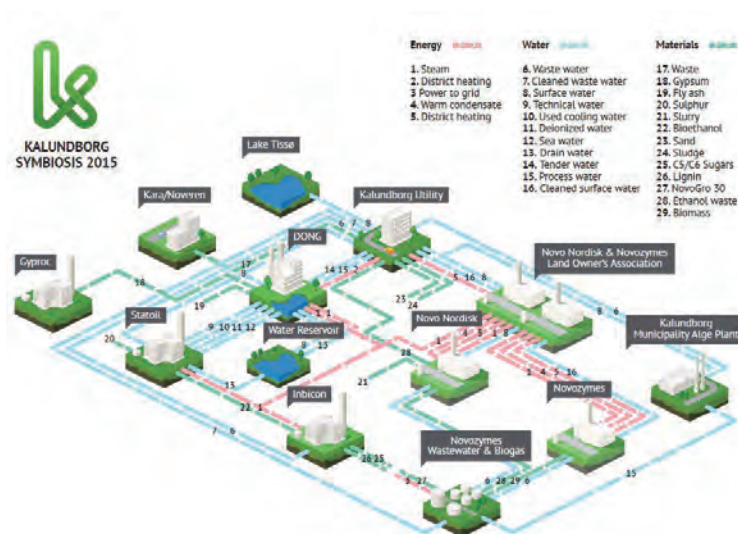
- 50年以上の歴史があるISの先進事例
- 現在は17のパートナーが互いに熱や水、蒸気、廃棄素材等20種類以上の余剰資源を循環

取組事例

- アスナス発電所の余剰熱は、地元の住宅3,500軒で利用。副産物として出る汚泥は農業用の肥料として販売される。別の副産物である石膏はウォールボードのメーカーへと供給される。



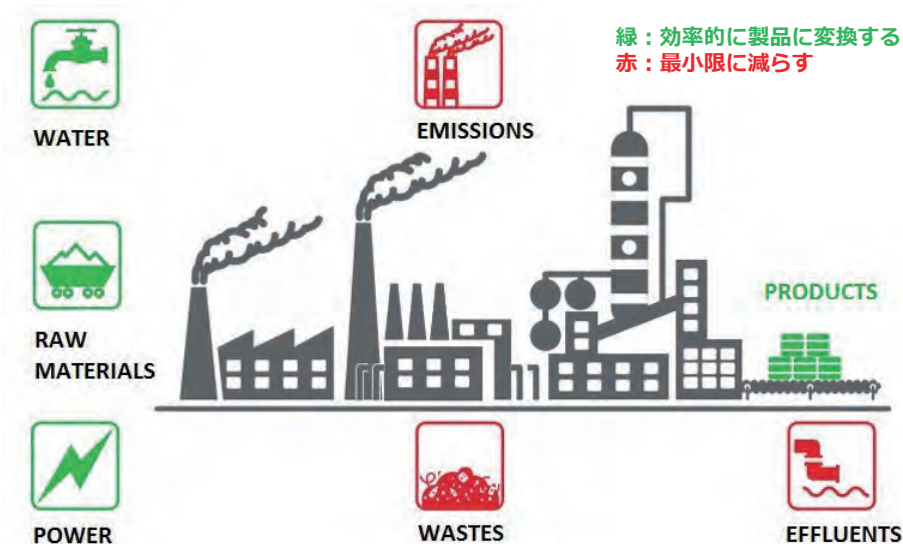
Kalundborg Symbiosisを構成する企業の立地と規模



Kalundborg Symbiosis の相互循環

Resources Efficient and Cleaner Productions (RECP)

RECPは1989年にUNIDOとUNEPによって提唱された、循環型経済を実現するための概念
「廃棄物・排出物・廃水を最小限に抑え、水・材料・エネルギーを可能な限り効率的に製品に変換」



Resource Efficient and Cleaner Production (RECP) の概念図

Draft Circular No. 9998 /BKHDT-QLKKT

Park Management Indicator

ID	Indicator	Thres hold	Responsible entity		
			Enterp rises	IP Infra investor	BIZA
PM1	IP management unit	Have and maintain the system for <u>monitoring and making report on Eco-IP</u> with the following points: - <u>Critical risk factors and response plans</u> , at a minimum, for the following: + Risk scores for the unexpected releases of solid waste, liquid waste, and hazardous emissions, as well as disposal measures when fire and explosion risks occur, and; + Risks related to possible natural disasters (e.g. earthquakes); + Critical risk management within IPs - There is an <u>environmental control unit for emergency warning systems for environmental and other risks</u> .	Yes/ No	✓	
PM2	Risk monitoring	Have <u>plan for responding adverse impacts of climate change</u> , and this plan should be <u>updated every 7 years</u> .	Yes/ No	✓	
PM3	Support unit for Eco-IPs	Assign <u>a public service unit</u> under IP infra investor or an appropriate unit to perform the functions of <u>building, providing information and databases on RECP</u> ; propose <u>solutions and connect businesses to realize IS</u> ; provide <u>services to support conversion or new investment in Eco-IPs</u> .	Yes/ No	✓	
PM4	Supplementary planning/ New planning for Eco-IPs [Indicator for new Eco-IP]	Register industries and professions that attract investment in IPs; <u>estimated emission levels</u> for each industry and profession; <u>expected IS plan</u> in the IP, plan to build and implement a <u>mechanism to monitor the input and output of the IP on the use of raw materials, materials, water, energy, chemicals, waste, and scrap</u> , and plans to implement <u>social responsibility towards the surrounding community in the project documents</u> .	Yes/ No	✓	

Social Indicator

ID	Indicator	Thresh old			
			Enterp rises	IP Infra investor	BIZA
SOC1	Code of conduct complaint system	Percentage of businesses with more than 100 employees having the <u>regulations on receiving and solving complains of employees</u>	75%	✓	
SOC2	Disclosure of information and accountability	Percentage of businesses <u>disclosing information</u> (on the portal, website, or newspaper)	75%		✓
SOC3	Essential social infrastructure	<u>Essential primary social infrastructure</u> has been fully provided in the master plan of the IP and is completely functioning well in the IP.	75%		✓
SOC4	Gender equality and social services	Percentage of enterprises (over 100 employees) achieving <u>gender equality in social security</u> (having labor contracts, health insurance, social insurance), <u>labor safety, labor hygiene, and training on RECP</u> .	75%	✓	
SOC5	Management team	Have <u>specialized staff on social indicators</u> .	Yes/ No		✓
SOC6	Anti-harassment and discrimination policies	Percentage of businesses with <u>regulations on preventing harassment in the workplace</u>	75%	✓	
SOC7	Maintain community connectivity and dialogue	Maintain <u>annual community connection funding</u>	Yes/ No	✓	✓

Economic Indicator

ID	Indicator	Thresh old			
			Enterp rises	IP Infra investor	BIZA
EC01	Economic cooperation	Have plan and evidence <u>on creating at least 01 opportunity for cooperating among businesses</u> in the IP.	1		✓
EC02	Market demand for services and infrastructure of Eco-IPs	Have responsible on <u>comminating/ marketing about Eco-IP for potential investors</u> (domestically and internationally).	Yes/ No		✓
EC03	Maximizing local benefits	Have a strategy to <u>maximize local benefits</u> , with clear evidence of <u>prioritizing the use of local labor</u> (workers living within a 100 km radius of the IP).	Yes/ No		✓
EC04	Development of SMEs	<u>Support small and medium-sized enterprises (SMEs)</u> to provide services and create added value for IPs.	Yes/ No		✓
EC05	Local Added Value	Prioritize the <u>use of local suppliers</u> , and bring development opportunities for local businesses.	Yes/ No		✓
EC06	Value of IP services	Revenue from services must <u>ensure payment of operating costs</u> for the Eco-IP.	Yes/ No		✓

ベトナムにおけるエコ工業団地評価事例

工口工業団地評価方法

NIPPON KOEI

UNIDOでは2つの評価方法を用いて、ベトナム国内エコ工業団地の評価を実施した。

PART I. INTERNATIONAL FRAMEWORK FOR ECO-INDUSTRIAL PARKS

There are **64** indicators in the international framework for EIP

UNIDO
64 Indicators

DEEP C



AMATA



HIEP PHUOC IP

PART III. VIETNAM'S NATIONAL ECO-INDUSTRIAL PARK INDICATORS

Within the project framework, in January 2024, the project conducted a pilot assessment to demonstrate the national indicator set for Hoa Khanh Industrial Park, Da Nang City.

23 *lational EIP Indicators*

The assessment results for Hoa Khanh
IP in January 2024 according to the
national set of indicators for EIP



The trial results indicate that Hoa Khanh Industrial Park meets **68%** of Vietnam's national eco-industrial park indicators.

Decree35(Draft Circular)
23 Indicators



HOA KHANH IP

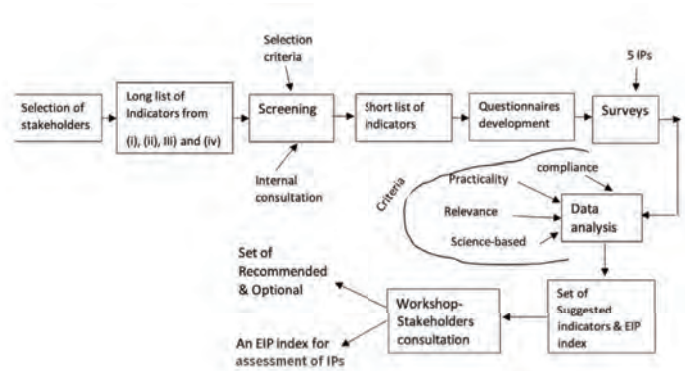
ベトナムの状況に則した指標を設定するため、Vietnam's International Eco-IP IndicatorではInternational Frameworkの63項目を精査し、23項目を採用した。



An International Framework For Eco-Industrial Parks (UNIDO, World Bank)



Vietnam's International Eco-Industrial Park Indicator (UNIDO, MPI)



Vietnam's International E-IP Indicatorの指標選別プロセス

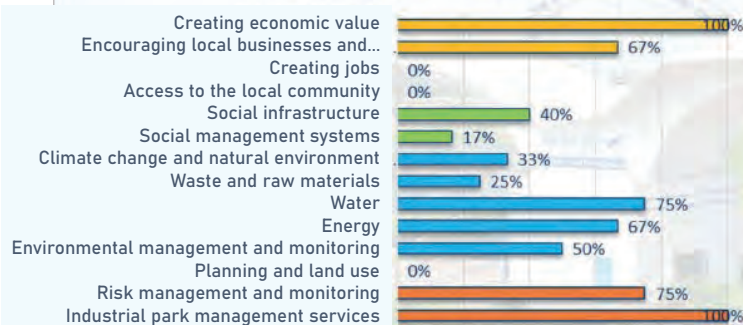
エコ工業団地評価の事例：DEEP C 工業団地

DEEP C BASELINE, 2020

Results in 2020 show that DEEP C achieved **47%** compliance with the international framework on eco-industrial parks.

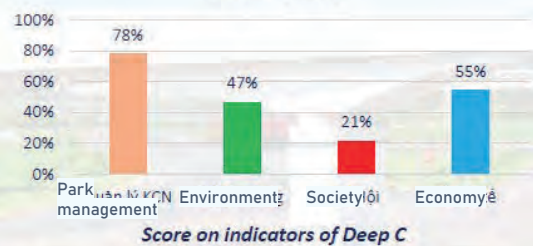
- IP management capacity is high.
- Economic and environment performance are at a medium level.
- Social performance is limited.

DEEP C (Năm 2020)



Score on indicators of Deep C

DEEP C (2020)



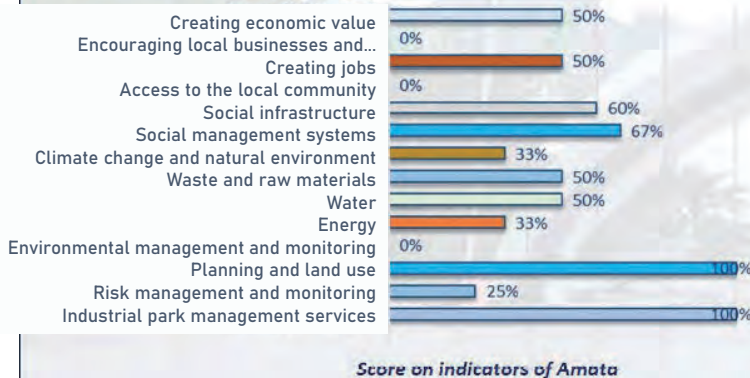
Score on indicators of Deep C

AMATA BASELINE, 2020

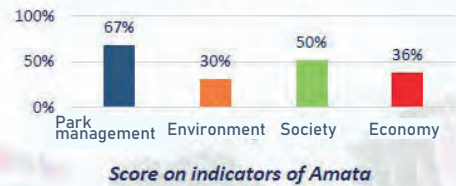
Results in 2020 show that Amata achieved **41%** compliance with the international framework on eco-industrial parks.

- The industrial park's management capacity and social efficiency are at a medium level.
- Environmental management and economic performance are at a medium level.
- Social and economic performance is limited.

Amata (Năm 2020)



Amata (2020)

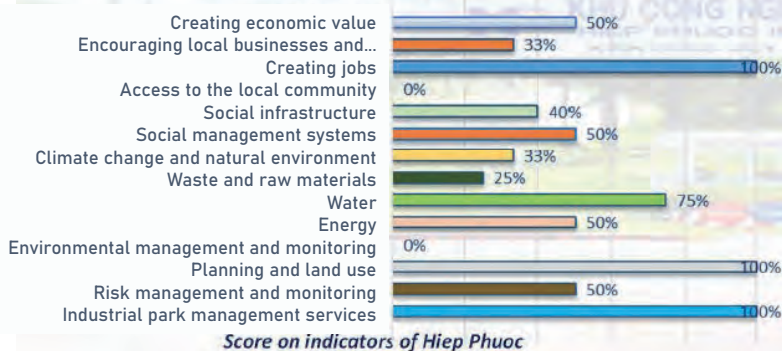


HIEP PHUOC BASELINE, 2020

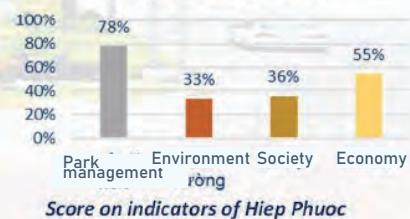
Results in 2020 show that Amata achieved **44%** compliance with the international framework on eco-industrial parks.

- Hiep Phuoc has a relatively high level of industrial park management (similar to Deep C).
- The economic performance of Hiep Phuoc is only at a medium level.
- Environmental and social performance of Hiep Phuoc are still very limited

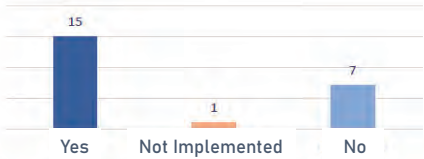
Hiệp Phước (2020)



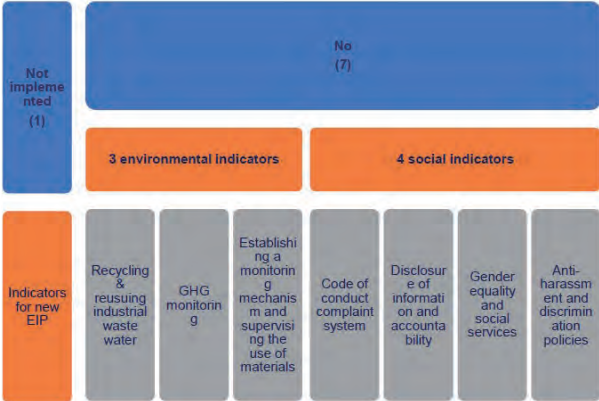
Hiệp Phước (2020)



Indicators		Result 1/2024
Environmental indicators	ENV1	Yes
	ENV2	Yes
	ENV3	No
	ENV4	No
	ENV5	No
	ENV6	Yes
Park management indicators	PM1	Yes
	PM2	Yes
	PM3	Yes
	PM4	Not implemented
Social indicators	SOC1	No
	SOC2	No
	SOC3	Not Yes
	SOC4	No
	SOC5	Yes
	SOC6	No
	SOC7	Yes
Economic indicators	ECO1	Yes
	ECO2	Yes
	ECO3	Yes
	ECO4	Yes
	ECO5	Yes
	ECO6	Yes



The trial results indicate that Hoa Khanh Industrial Park meets **68%** of Vietnam's national eco-industrial park indicators.



3. 環境省セミナー発表資料

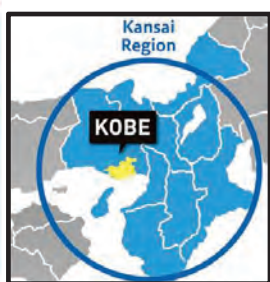
Kobe City's Support for Overseas Expansion

Shiro Takeda

Executive Director, Future City Promotion
Urban Planning Bureau, Kobe City Government

1

Kobe City Overview



Kobe

Yokohama

Kyoto

Osaka

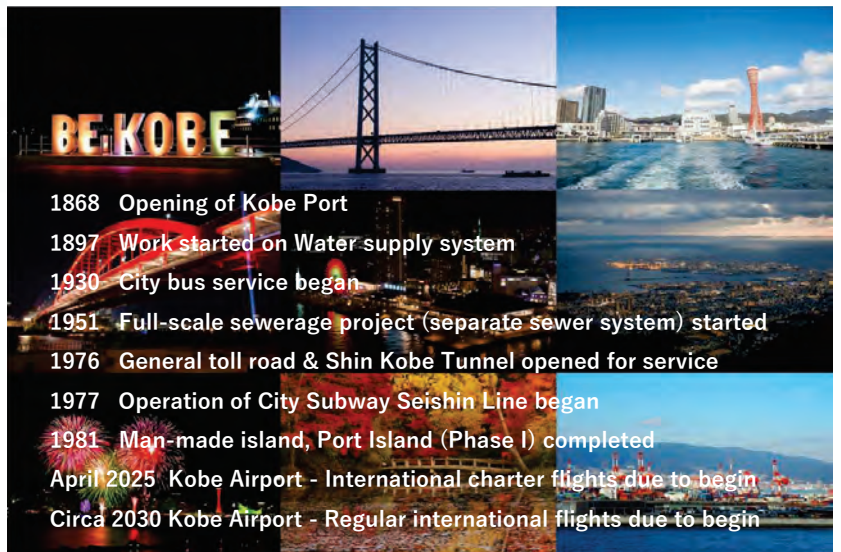
Nagoya

Tokyo

KOBE
outline

Total population
1,490,000

Area
557 km²



1868 Opening of Kobe Port

1897 Work started on Water supply system

1930 City bus service began

1951 Full-scale sewerage project (separate sewer system) started

1976 General toll road & Shin Kobe Tunnel opened for service

1977 Operation of City Subway Seishin Line began

1981 Man-made island, Port Island (Phase I) completed

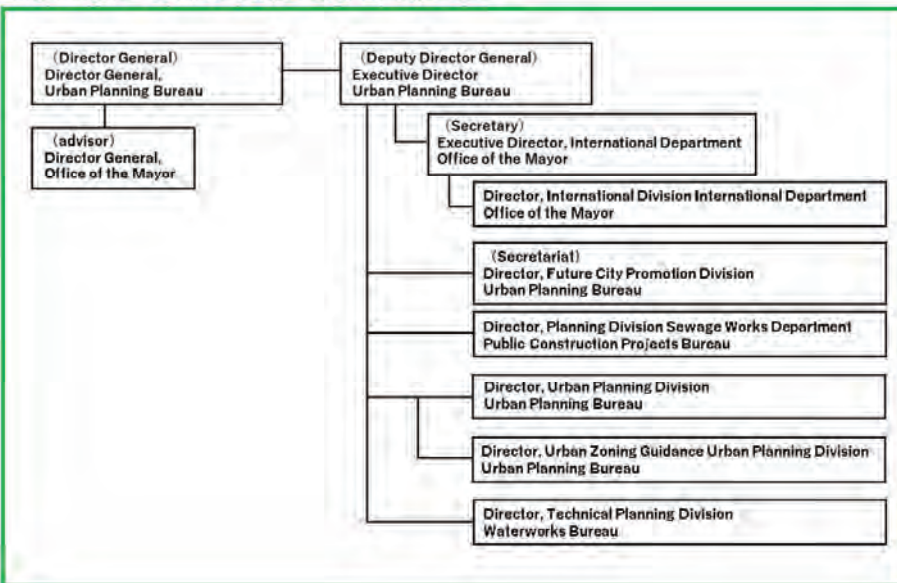
April 2025 Kobe Airport - International charter flights due to begin

Circa 2030 Kobe Airport - Regular international flights due to begin

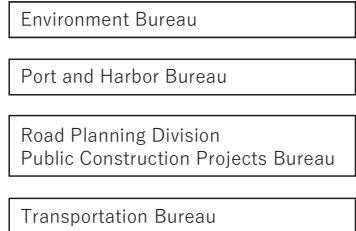
2

Kobe City International Technical Cooperation Headquarters

International Technical Cooperation Headquarters



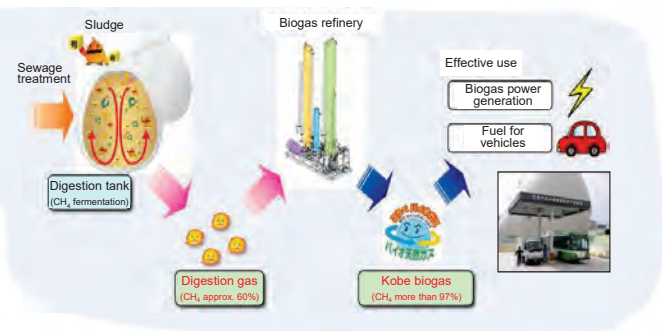
Related departments



Biomass power generation

【Bio-natural gas (Kobe Biogas)】

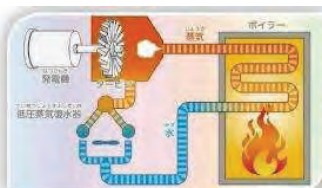
Methane gas is extracted from sewage sludge and used for power generation, etc.



【Waste-to-Energy】

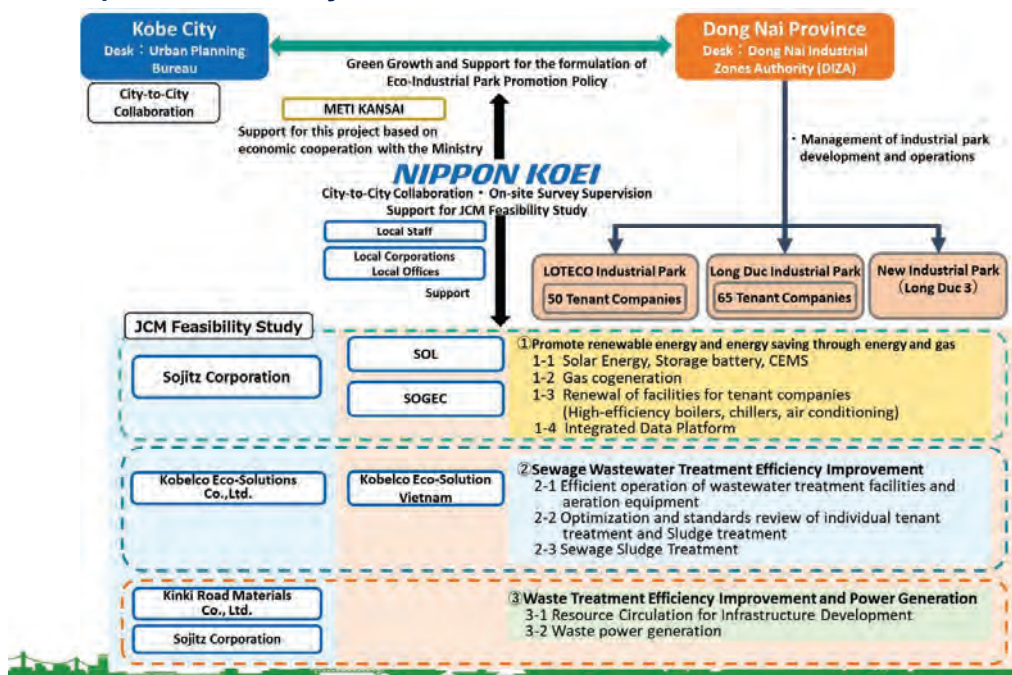
Heat from waste incineration generates electricity. The electricity is used for facility operation and any surplus is sold.

(Minatojima Clean Center)



Collaboration with Dong Nai Province, Viet Nam

Implementation system



Dong Nai Province officials visit Kobe
(Higashinada Treatment Plant)

